

がん種	多発性骨髄腫		催吐リスク	最小度(催吐性)リスク
レジメン名	IsaPd		点滴投与時間	約4h
1コース期間	4週間		休薬期間	下記スケジュール参照

処方No.	薬品名・用量	投与方法	注入時間
	#1:d1.8.15.22 #2~:d1.15		
	レスタミンコーワ錠 50mg、アセトアミノフェン800mg デキサメタゾン 20 or 40mg (サークリサ投与60~15分前に内服)	経口	
1	生食 50mL	点滴静注	ルート確保用
2	ファモチジン 20mg + 生食 50mL	点滴静注	15分
3	生食 50mL	点滴静注	15分
4	サークリサ (10mg/kg) + 生食 250mL (生食250mLになるよう薬剤科にて生食の量を調節)	点滴静注	下記参照
5	生食 50mL	点滴静注	ルートフラッシュ
	day1~21		
内服①	ポマリスト(1~4mg/body) 1日1回	経口	day1~21
	投与スケジュールは下記参照		

ポマリドミド及びデキサメタゾンとの併用 (IsaPd療法)

■ 1サイクル目

1サイクル:28日間

Day	1	第1週	8	第2週	15	第3週	22	第4週
サークリサ (10mg/kg)	■		■		■		■	
ポマリドミド (4mg)	■	■	■	■	■	■	■	■
デキサメタゾン (40mg*)	■		■		■		■	

国際共同第3相 (EFC14335/ICARIA-MM) 試験の治療スケジュール参照

ポマリドミドの用法及び用量: 28日間を1サイクルとし、1日1回4mgを21日間連日経口投与した後、7日間休薬した。

低用量デキサメタゾンの用法及び用量: 28日間を1サイクルとし、1日1回40mg (75歳以上の患者では20mg) を1、8、15及び22日に静脈内又は経口投与した。

■ 2サイクル目以降

Day	1	第1週	8	第2週	15	第3週	22	第4週
サークリサ (10mg/kg)	■		■		■		■	
ポマリドミド (4mg)	■	■	■	■	■	■	■	■
デキサメタゾン (40mg*)	■		■		■		■	

*75歳以上の患者は20mgに減量

■ 投与速度の増加 (Infusion reactionが認められない場合*)

初回投与 20分 2次 30分 3次 45分 4次 60分 5次 75分 6次 90分

